

台麻への道

我打麻将

2008/04/01 Ver. 1.00

目次

0	序論	1
1	日本麻雀との相違	2
2	手役	2
2.1	1 台役	2
2.2	2 台役	3
2.3	3 台役	4
2.4	4 台役	4
2.5	5 台役	4
2.6	8 台役	4
2.7	10 台役	5
2.8	12 台役	5
2.9	13 台役	5
2.10	16 台役	5
2.11	20 台役	5
2.12	24 台役	6
3	縛り	6
4	点数計算	6
5	過水	6
5.1	過水の解除	6
5.2	大明槓直後の自摸和了禁止	6
5.3	喰い替え・鳴き選択の禁止	6

0 序論

麻雀は中国発祥のゲームであるが、1920 年以降世界各地に広まり、様々なルール体系に分化して発展していった。種々の特徴的な麻雀が生まれたが、その中でも 16 枚の手牌を使って楽しむ台湾麻雀を紹介

する。

本稿は、日本麻雀は打てるが台湾麻将については知識がほとんどない者を対象とした、台湾麻将の初級テキストである。

1 日本麻雀との相違

日本麻雀との相違点には、主に以下のようなものがある。

- 役の数が多い。
- 点数計算は、符数と翻数によるものではなく、役ごとの台数の単純加算制である。
- 縛りはない。(連荘が発生すると縛りが課されることがある)
- 満貫制はない。
- 和了時に、放銃者または被自摸者全員から手役の台数 + 底の台数 (3 台) を徴収する。放銃者の人数は 1、被自摸者の人数は 3 であるので、自摸和了りの収入は出和了りの収入の 3 倍になる。
- 原則として、一荘戦で行われる。
- 日本で一般的な形での振聴はないが、同巡振聴の規定が厳しい (過水)。
- 立直はないが、ダブル立直に当たる役はある。
- ドラはない。
- 王牌は 16 枚残す。
- 喰い下がりはない。
- 平和が 2 種類ある。
- 暗槓は 4 枚とも全て伏せて行い、局の終了 (流局・和了の両方) に伴って公開する。(誤暗槓は公開時に錯和となる。)
- 錯和が起こっても、続行可能な限りその局を続ける。(罰則は当然存在する。続行するかどうかの判断が日本麻雀よりも続行寄り、と言ったほうがよい。)
- 花牌が使用されることが多い。
- 開門の際はサイコロを 3 つ使う。

2 手役

台湾麻将において認められている手役を一覧にした。全体役には [全] を、部分役には [部] を付け、さらに部分役に関しては構成面子数 (雀頭は + の記号とした) を示しておいた。整理して効率よく覚えていくためには、点数別だけでなく、全体役・部分役・状況役、偏数系・字牌系・順子系・刻子系・槓子系、門前役・副露役、などのカテゴリによる分類を行ってみるのがよい。

なお役名の後に (外役) とあるものは、縛りがある場においては、その役を数えずに縛りをみたさないと和了できない役である。(日本麻雀のドラ、中国麻将の花牌のようなもの。)

2.1 1 台役

ウーツウーホフ
無字無花 [全] 字牌がなく、花牌を抜いていない手。

クンヤオチュー
断幺九 [全] 断幺九。

イーバンカオ
一般高 [部 2] 一盃口。

チャンカン
搶槓 搶槓。

ホーテイラオユイ
河底撈魚 河底撈魚。

ツモ
自摸 自摸和了。日本麻雀で一般的なマナーよりも、手牌と自摸牌の距離を離して宣言する。

メンチェンチン
門前清 門前。

チャンチャー
莊家 (外役) 親の和了。

ヤクハイ
役牌 [部 1] 三元牌・圈風牌・門風牌*1の刻子、本花*2。

シャオピンフ
小平和 [全]5 順子 1 雀頭の和了で、大平和でないもの。

ホワロン
花龍 [部 3]3 色で 123,456,789 の 3 順子。三色同順が 3 つずつずれたもの。

ドゥーテン
独聽 辺張待ち、嵌張待ち、単騎待ちで、待ちが 5 枚目の牌を想定しても 1 種になる手。

スークェーイー
四帰一 1 順子 1 刻子での同種牌 4 枚使い。

2.2 2 台役

レンチャン ラーチャン
連莊 + 拉莊 (外役) 莊家の和了。すでに連莊した数だけ、連莊・拉莊がそれぞれ増える。日本麻雀の 1 本場が 2 台にあたる。

リンシャンカイホワ
嶺上開花 槓もしくは花牌の補充牌による和了。

ハイテイラオユエ
海底撈月 海底牌の自摸和了。

ホワカン
花槓 春夏秋冬または梅蘭菊竹のセットをすべて抜いた手。

スークェーアル
四帰二 2 順子 1 対子での同種牌 4 枚使い。

ホンチャンタイヤオ
混全帯幺 [全] 混全帯幺。

サンシャンフォン
三相逢 [部 3] 三色同順。

サンアンコー
三暗刻 [部 3] 三暗刻。

サントンコー
三同刻 [部 3] 三色同刻。

サンレンコー
三連刻 [部 3] 同色で 1 つずつずれた刻子 3 組。三連刻。

チンロン
清龍 [部 3] 一氣通貫。

サンブーカオ
三步高 [部 3] 同色で 1 つずつずれた、または 2 つずつずれた 3 順子。

ウーメンチー
五門齊 [部 4+] 萬子、筒子、索子、風牌、三元牌の全てを使った手。*3

パークェーイー
八帰一 1 順子 2 刻子での同種牌 2 種 8 枚使い。

*1 台湾麻雀は開門東である。すなわち、莊家が振ったサイコロの目の位置のプレイヤーが東家となり、それを基準として南家・西家・北家が決まる。

*2 東南西北に対して、春夏秋冬、梅蘭菊竹が対応する。

*3 これが全体役か部分役かには議論がある。我打麻将による説は、包含対象が規定されているので部分役というものである。

2.3 3台役

バンチョーレン

半求人 暗槓を含めないで5副露した手の自摸和了。

ブーチョーレン

不求人 門前清自摸和。

タービンフ

大平和 [全] 花牌を抜いていない、5順子と数牌雀頭の和了。

パークェール

八帰二 2順子と対子や刻子での同種牌2種8枚使い。

ジュンチャンタイヤオ

純全帯幺 [全] 純全帯幺。

アルバンカオ

二般高 [部4] 二盃口。

サンフォンホエ

三風会 [部3] 風牌の刻子を3組。

スーブーカオ

四歩高 [部4] 同色で1つずつずれた、または2つずつずれた4順子。

イーソーサントンシュン

一色三同順 [部3] 同色で同数の順子3組。一色三順。

2.4 4台役

シャオサンコエン

小三元 [部2+] 小三元。

サンカンツ

三槓子 [部3] 三槓子。

チャンチョーレン

全求人 5面子を副露*4して出和了った手。

ホンイーソー

混一色 [全] 混一色。

トイトイホー

對對和 [全] 對々和。

パークェーサン

八帰三 3順子と対子や刻子での同種牌2種8枚使い。

スーレンコー

四連刻 [部4] 同色で1つずつずれた刻子4組。四連刻。

スークェースー

四帰四 4順子での同種牌4枚使い。

ディーティン

地聴 自分の実質第1自摸で聴牌したことを、「MIJI」と宣言するとつく。手牌変更は暗槓を含めて一切できない。

2.5 5台役

スーアンコー

四暗刻 [部4] 四暗刻。

ウーブーカオ

五歩高 [部5] 同色で1つずつずれた4順子。

シーリューブーター

十六不搭 手牌に搭子がなく、対子がただ1組ある状態。1巡目でなくてもよい。

2.6 8台役

チーチャンイー

七搶一 花牌を7種抜き、他家が花牌を1種抜き。

*4 暗槓を除く。

バーシェンクォーハイ

八仙過海 花牌を8種抜く。

ターサンユエン

大三元 [部 3] 大三元。

テンティン

天聴 子が配牌で聴牌し、第1ツモの前に”MIJI”と宣言するとつく。手牌変更は暗槓を含めて一切できない。

パートイバン

八対半 門前で7対子1刻子の和了。

チンイーゾー

清一色 [全] 清一色。

シャオスーシー

小四喜 [全] 小四喜。

チャンオースー

全偶数 [全] 偶数牌のみによる和了。

ホンロウトウ

混老頭 [全] 混老頭。

2.7 10台役

チェンコーワンライ

千客万来 十六不搭の形のうち、数牌の組合せが147,258,369の3種揃うもの。

ウーレンコー

五連刻 [部 5] 同色で1つずつずれた刻子5組。

シーアルクェー

十二帰 同種牌3種12牌使い。(または4種16牌使い。)

2.8 12台役

スーカンツ

四槓子 [部 4] 四槓子。

リュウイーゾー

緑一色 [全] 緑一色。

2.9 13台役

スーレンタイバオ

四連太宝 [部 4] 同色で同数の順子4組。一色四順。

ウーアッシュー

五暗刻 [部 5] 暗刻5組。

2.10 16台役

ディーホー

地和 配牌で聴牌した子の、暗槓以外の副露のない第1巡の自摸和了。

レンホー

人和 配牌で聴牌した子の、暗槓以外の副露のない第1巡、自摸以前の出和了り。

タースーシー

大四喜 [部 4] 大四喜。

チンロウトウ

清老頭 [全] 清老頭。

ツイーゾー

字一色 [全] 字一色。

2.11 20台役

レンスーパートイバン

連数八対半 八対半で、1から8、または2から9のいずれかをすべて使ったもの。

チュロンフェーデン

九龍飛天 九蓮宝燈形でなく、どれで和了しても5面子1雀頭と解釈できる9門張の聴牌による和了。

2.12 24 台役

ウーカンツ

五槓子 [部5] 槓子5組。

テンホー

天和 天和。ただし、暗槓はしてもよい。

3 縛り

- 連荘数が0から2のとき、縛りはない。
- 連荘数が3から5のとき、1台縛りとなる。
- 連荘数が6以上のとき、2台縛りとなる。(これ以上縛りが上がることはない。)

4 点数計算

放銃者1人、または、被自摸者3人から、底の台数と役の台数を受け取る。

5 過水

自分を含むプレイヤーが同巡内で先に捨てた牌で和了することはできない。日本の同巡内振聴にあたるが、日本で一般的なルールと異なり、同巡の自摸和了もきんしされる。

5.1 過水の解除

- 上の過水が発生してから、1巡を経れば和了できる。
- 「独立した刻子」ではない牌を暗槓し、待ちが変われば、和了できる。^{*5}
- 加槓すると他家による出和了り可能性が発生するので、捨て牌と同等の性質をもつとみなされ、1巡を経たのと同様に和了できる。

5.2 大明槓直後の自摸和了禁止

大明槓したときの嶺上牌で和了を表明することはできない。したがって、嶺上開花できる槓は暗槓・加槓に限る。

5.3 喰い替え・鳴き選択の禁止

- 手牌に234とあって、2と5のどちらをチーしても、その直後に2を捨てることはできない。
- ポンした直後に、同じ牌を捨てることはできない。
- 自分を含むプレイヤーが同巡内で先に捨てた牌をポンすることはできない。

^{*5} このとき、暗槓した牌によって待ちが変わったことを示すため、暗槓直前の自摸牌を手牌に加えてはならない。